

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング

【施策番号 27157：小型化等による先進的宇宙システムの研究開発（経済産業省）】

- 1 日時：平成 22 年 9 月 13 日（月） 16:00～16:30
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 第 3 特別会議室
- 3 聴取者：白石議員、奥村議員、青木議員
外部専門家 6 名（うち若手 2 名）
内閣府 大石審議官、廣木参事官
- 4 説明者：経済産業省 製造産業局 航空機武器宇宙産業課 宇宙産業室 金子室長
松本係長 他

5 施策概要

高性能な小型衛星を短期間に低コストで実現するための新たな衛星システム開発アーキテクチャ（設計思想）を確立することにより、大型衛星に劣らない性能を維持しつつ、低コスト、短期の開発期間を実現する小型衛星を開発する。またあわせて衛星の追跡管制、データ受信処理システムの低コスト化、打上げコストの削減、打上げ能力の向上を図ることにより、「先進的宇宙システム」を構築することにより、新興国において拡大する小型衛星市場参入を図ることで、システム輸出を促進する。

6 質疑応答模様

【外部専門家】

軽量でかつ分解能をよくするには、バスをよくするのか？それともセンサか？

【経済産業省】

センサである。光学センサを用いている。

【白石議員】

最先端研究開発支援プログラムで採択されている研究との関係は？

【経済産業省】

採択されている中須賀先生の研究は 50-100kg のレベル。本施策は、2 トン級の地球観測衛星を 500kg に小型化する取組。

【奥村議員】

世界市場では衛星サービス業が大きい。この企画、施策は別途進めているのか？

【経済産業省】

ご指摘のとおり利用も含めないとビジネスとしてうまみが小さく、売った側としても使えるようにならない。インフラシステム輸出の中で、運用や人材育成も含め行うコンセプトを持っている。利用は例えば資源の探査や農業管理、植生分類などへの適用も予定している。

【外部専門家（若手）】

打上げロケットの調達はできているか？

【経済産業省】

当初、イプシロンロケットを予定していたが、本ロケットのスケジュールが後ろ倒しになっているため、最終調整が必要。

【外部専門家】

地上システムについて、可搬型とのことだが、何の開発が必要か？

【経済産業省】

トラックに積載可能な大きさにすることと、処理スピードを高速化することである。

以上